

平成 27 年度えりも地域ゼニガタアザラシ対策事業

結果報告（被害防除に関する事業）

1) 漁網の改良（環境研究総合推進費：北大・農大等と連携）

2 種類の改良網を、漁業者の協力を得て漁業期間中に設置した（図 1.）。

①ゼニガタアザラシの入網を阻止する格子網を、金庫網に装着したもの。

※春定置漁業期間中に 1 ヶ統（5 月 25 日から 6 月 13 日まで）、秋定置漁業期間中に 2 ヶ統（8 月 31 日から 9 月 12 日まで）において実施。

②金庫網内でサケとゼニガタアザラシを分離する仕切り網を装着したもの。

※秋定置漁業期間中に 1 ヶ統（8 月 31 日から 9 月 12 日まで）において実施。

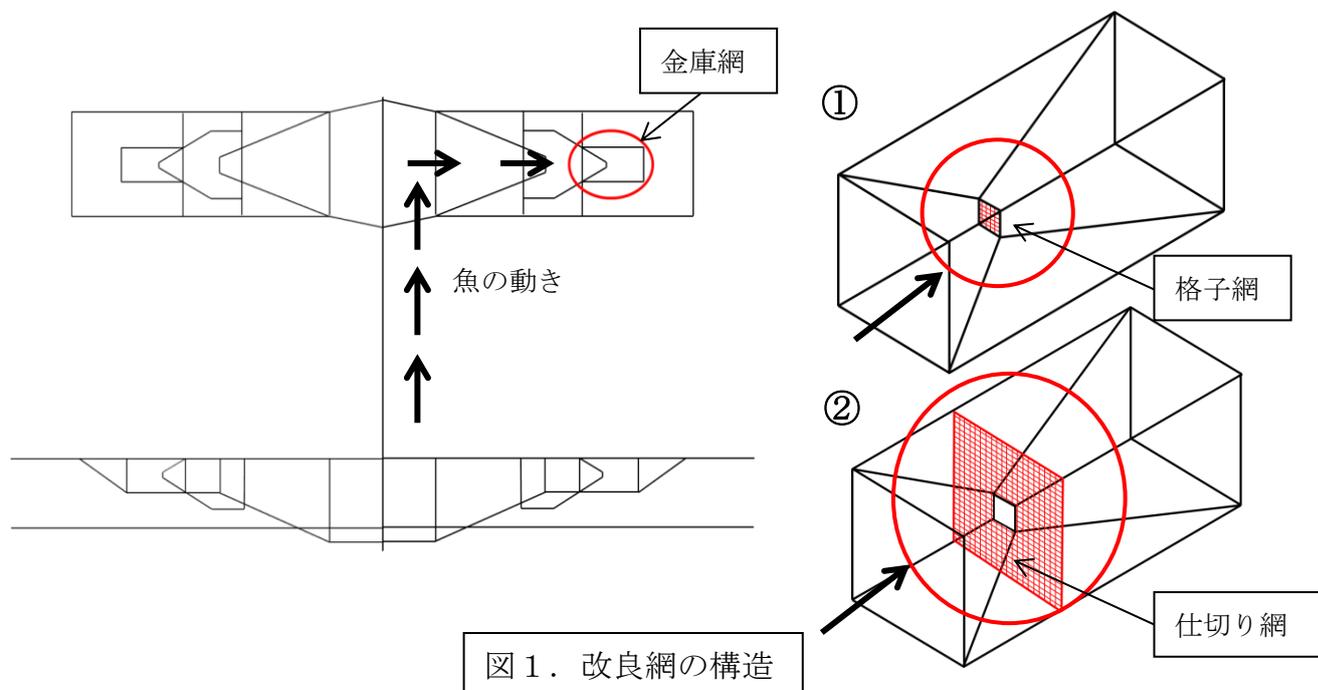


図 1. 改良網の構造

※①については、特に秋定置期間中において、20cm × 20cm の格子網による明らかな被害軽減効果が認められたため、試験後に装着箇所を増やし継続的に装着された。



2) 捕獲罟の設置

- 改良網と併せて、ゼニガタアザラシ捕獲を目的とした捕獲罟（図2.）を設置した。（春期漁期中）

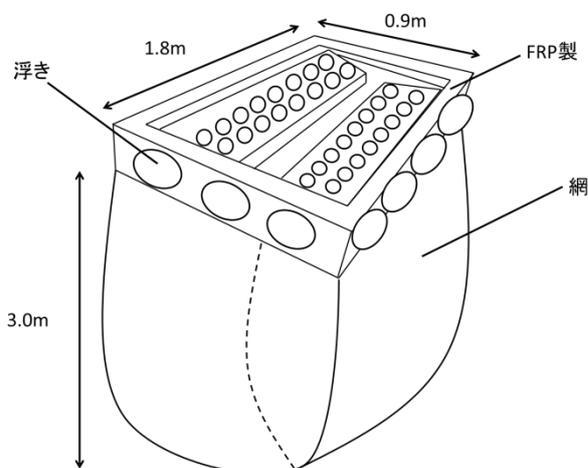


図2. 捕獲罟の構造

5月26日から6月20日の期間中、海の状況等に応じて、1基から5基の罟を定置網周辺に設置した。設置当初は捕獲される個体は無かったが、罟の中に誘引餌を入れることにより、1頭の生体捕獲に成功した。

3) 忌避装置の改良試験（東京農大・道立工業技術センター等と連携）

漁業者の協力を得て捕獲されたゼニガタアザラシを、えりも岬漁港に設置した生け簀で一時的に飼育し、忌避装置改良のための行動調査を行った。

- 6月に既存の忌避装置に対する行動を調査し、その結果を踏まえて10月に新たな装置開発のための試験を行った。
- 10月の実験では、発射した超音波がアザラシの行動に明らかな影響を与えていることがわかった。

